

京都女子大学

食物學會誌

第 10 號

JOURNAL OF FOOD SCIENCE
KYOTO WOMEN'S UNIVERSITY

No. 10

京都女子大学食物学会

FOOD SCIENCE SEMINAR
KYOTO WOMEN'S UNIVERSITY

JULY 1961

食 物 学 会 誌

第 10 号

目 次

土屋先生を悼む……………	一 瀬 雷 信	2
研 究 報 文		
食品中のビタミンの研究 (第二報) 野菜の調理加工及び容器によるビタミンCの 破壊について……………	工 藤 豊 安 福 子 西 原 良	3
塩蔵魚介類の細菌学的考察 [Ⅱ] 特に腸内細菌の分布について……………	平 田 一 士 鞍 田 光 慧	9
眼科領域における「食中毒型ブドウ球菌」の分布について……………	平 田 一 士 吉 原 め ぐ み	17
味噌熟成中の成分変化……………	高 橋 沢 山 名 信 子	27
Bioassay によるアミノ酸の定量……………	加 来 ト ミ 子 中 村 幸 子 中 山 啓 子	30
葉酸の微生物定量について……………	西 田 幸 子	38
食品中のビタミンの研究 (第三報) 納豆製造中におけるビタミン B ₁ の消長……………	工 藤 豊 遠 藤 由 紀 安 福 英 子 小 松 初 子	43
昭和35年度卒業論文要旨……………		46
学 会 記 事……………		57

京都女子大学食物学会誌投稿規定

1. 原稿は食物学科に関係のある研究報文、調査、綜説、自由論叢、研究室だより、学級、卒業生だより、実習記および見学記などとする。

投稿者は本会会員ならびに食物学科卒業生とする原稿には前記区分明記のこと。

2. 原稿の取捨は編集会議一任のこと。

また原稿中の字句については加除、修正を行なうことがある。

3. 原稿には表題、著者名および所属（卒業生は卒業年次、卒論専攻教室名）などを記し、特に研究報文は原著にして他誌に未発表のものとする。

4. 原稿は必ず400字詰横書原稿用紙を用い、報文の長さは27枚以内（刷上り6頁以内）とする。但し制限超過による総ての経費を著者にして負担する場合にはこの限りでない。

原稿用紙4.5枚が約1頁に相当し、凸版図または写真版図共に2寸×3寸挿入の場合はこのスペースは約500字に相当する。

5. 原稿は平かな、新かな使い横書きとし、欧語音読には片かなを用いる。ただし物質名、人名などは欧文のままとする。

欧文学名の下には——を付け（イタリック体となる）、和名は片かなを用いる。ゴシック体の下には

~~~~をつける。

数量単位はメートル法によるのを原則とし、数字はすべてアラビア数字を用いること。

6. 図およびグラフは白紙または青線方眼紙にていねいに墨書すること。書き直しを必要とする図については実費を著者にて負担すること。

また別紙に書いた表および図、グラフ、写真などについて挿入個所を本文原稿中に朱で示すこと。

7. 句読点、カッコは1割を与える。ハイフンは区画の罫線上に明瞭に書くこと。

8. 報文中の引用文献番号はカッコをつけて右肩に小さく書く。文献は報文の最後に通し番号順に列記すること。

報文雑誌名は日本化学総覧、欧文雑誌名はChemical Abstractsの規定の略名に従うこと。

9. 本文および文献中の外人名には——、雑誌名には——、雑誌巻数には、~~~~、欧文学者名の下に——を付けること。

10. 校正は初校に限り著者が行なうことを原則とする  
11. 綜説、研究報文、自由論叢については希望者に対し別刷20部を贈呈する。それ以上の希望数に対しては実費を申しうける。

希望者は希望数を原稿の表に朱記すること。

## 編集後記

- 本誌も遂に第10号をお送りするまでに成長しました。誠に御同慶の至りです。
- 本号には昨年末急逝された土屋先生の追悼の言葉を食物学会の代表として一瀬先生にお願いした。土屋先生は学会誌に対しても常に多大の関心を寄せられ、よき理解者であり、今までにも多くの御寄稿を頂きました。深く先生の功績を偲び哀悼の意を表する次第であります。
- 本号は例年通り本年大学新卒業生諸姉の卒業論文要旨を集めました。例年のことながら一部の方々の投稿がなかつたため、論題、氏名の羅列になつてしまつた所があり、大変残念に思います。今後は是非卒業までに要旨を各卒論担当の先生に御提出下さいますよう御願い致します。
- 本号にも助手、副手の方々より多数の研究論文を投稿頂きました。忙しい勤務の間のたゆまぬ努力

が一つ一つ実を結び、誠に喜ばしいことです。今後とも御研鑽の程をお祈りします。

- 原稿が非常に乱雑なものがあり、これが編集業務を遅らせ、ひいては印刷費増大の因ともなつておりますので、投稿規定を上記のように改め、規定によらない原稿は受付けないことになりましたので悪しからず御諒承下さい。
- 号を重ねるにつれて内容の方もよりよきものになりたいと思います。学会誌をよりよくするために諸姉の御意見をどしどしお聞かせ下さい。
- 本誌に関する連絡や投稿は下記に御願ひします。

京都市東山区東山七条 京都女子大学  
食物学会誌 編集常任委員

電 ⑥ 6 1 3 1 学内 29 (新納)

⑥ 6 1 3 2 (附属小学校内) (岡部)

第 11 号

原 稿 募 集

締 切 日 10 月 20 日

---

京都女子大学 食物学会誌 第10号 (非売品)

昭和36年7月10日 印刷

昭和26年7月12日 発行

編 集 委 員 代 表

編 集 者 岡 部 巍

発 行 所 京都女子大学食物学会

京都市左京区百万辺東入

印 刷 所 栄 光 堂 印 刷 所

電 ⑦ 0 6 9 5 ・ 2 9 7 0

---